



国際ロータリー第 2630 地区東濃グループ
多治見西ロータリークラブ

ウィークリー・リポート

Weekly Report

2017~2018 年度 第 52 期会長テーマ

『継続するための変化と多様性』

例会日 毎週 木曜日
 例会場 産業文化センター
 事務局 多治見市新町 2-23-4F
 T E L 0572-25-5100
 F A X 0572-25-5101
 Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
 H P http://tajiminishi.jimdo.com
 会 長 加藤 真左子
 幹 事 山田 正史



ロータリー：
変化をもたらす



第 2510 例会 2018 年 6 月 7 日

6 月は親睦活動月間

本日のプログラム

点 鐘
 国歌斉唱 君が代
 ロータリーソング 奉仕の理想
 四つのテスト
 会長挨拶
 出席・スマイル報告
 委員会報告
 理事会報告 幹事報告
 入会式 新会員 田中登志男君
 新会員より挨拶
 佐藤八郎ガバナー補佐より退任の挨拶
 卓話者紹介 山田正史君
 卓 話
 青少年育成小委員会委員 藤下和也様
 「出前講座について」
 点 鐘

新会員ご紹介

田中登志男君

生年月日 昭和 29 年 1 月 22 日 (64 歳)
 事業所名 税理士法人 アイオン
 住 所 多治見市上野町 1-103
 役 職 代表社員
 職業分類 会計士

卓話者ご紹介

青少年育成小委員会委員

藤下和也様 (恵那 RC)

職 業 株式会社デジタ 代表取締役
 職業分類 デザイン印刷

ロータリー歴

2005 年 9 月 恵那 RC 入会
 2008-2009 年 幹 事
 2011-2012 年 幹 事
 2015-2017 年 地区青少年育成小委員会 委員
 2017 年～地区青少年育成小委員会 副委員長
 2018-2019 年 会 長
 ポール・ハリス・フェロー



6月の例会行事

7日	卓話 幹事担当 地区青少年育成小委員会委員 藤下和也様 (恵那 RC) 「出前講座について」
14日	卓話 会長担当 多治見市南消防署 救命救急についての講習
21日	最終例会 点鐘 18時 場所：セルバチコ
28日	特別休会 13:00～ 会計監査 4F 相談室 会長 幹事 会計 会計監査

4日 (月) 東濃グループ
会長・幹事・事務局連絡会議
時間：17時 場所：メゾンドゥ ジャルダ

7月の予定 (第53期)

7月5日 (木) 第53期定期理事会
3F 特別会議室 11:00～
第53期第一例会 会長・執行部挨拶

7月13日 (金) 東濃グループ
会長・幹事・事務局連絡会議
時間：17:00～
場所：産業文化センター4F・松正
ホスト：多治見リバーサイド RC

7月21日 (土) 地区R財団研修セミナー
岐阜グランドホテル 受付 10:30

7月29日 (日) 職業奉仕委員会合同研修セミナー
岐阜都ホテル 時間未定

着信書類

- ・財団ニュース6月号
- ・多治見国際交流協会総会資料 (決算報告書)

先週の記録 ●出席報告

会員数 36名 免除者 4名 出席義務者 32名

出席者	欠席者	出席率
20名	12名	62.5%

メーキャップ 加藤守孝君 (多治見 RC)

●スマイル報告 投函者 13名 金額 16,000円

5月末残高 金額 986,503円

※皆様のご協力に感謝いたします。

ありがとう
ございます

5月の結婚記念日

古田徳夫君コメントより

結婚祝いのお花をありがとうございました。
結婚して35年になります。毎年二人で旅行に行くことを楽しみにしていましたが、何故か気が付くと

今年は自分ひとり留守番でした。



こんな時代になったのだと実感することが多くなりました。これからは一人で楽しむこと考えなければいけませんね。ただ、お休みに夫婦二人でゴルフに出かけることは続けていけたらと思っています。



任務終了にあたり思うこと

東濃グループガバナー補佐 佐藤八郎

ガバナー補佐の務めは、確かに猛烈に忙しく、聞きしに勝るものでした。でも、刺激も興奮も感動もない異常さ、ひとり温室の中におかれた感じがしました。草や木も強い風、激しい雨を保護する温室では本当に成長出来ません。ストレートに風や雨に打たれて、すくすく成長があるのです。

「東部戦線異常なし」と豪語し、太平楽を並べる余裕を持ちました。グループ内の各クラブの充実さがそうさせたのか、これでよいのかと思うのでした。勿論、各種会合、セミナーなど物理的な面には追いまくられました。ただ、これからのロータリーの展望を話し合う企では、地区ではありませんでした。この点非常に危機感を覚えました。リーダーを無事平穩、かつこいいポジションの中に安住させていて、日本のロータリークラブが停滞に陥った一因では。ガバナーは煙たい存在、ガバナー補佐は眠たい存在であっては、明日のロータリーはありません。兩人を、崖っぷちに立っての苦渋に満ちた顔にしなければなりません。今のロータリーは何一つとっても順風満帆ではない筈です。荒波の大洋を漂流中で、リーダーの責務は非常に重いと思います。何々様との呼び方、大きなリボン、記念品、特別扱い等々気を使いすぎやしないだろうか。その気にさせてしまっている。こう考えながら任期終了を迎えました。私ふうに全力投球させて戴きました。補佐としての不完全燃焼はさておき、クラブの皆さんの絶大なご支援を受けエネルギーを使い果たし魂の抜け殻のような自身を知ります。峠の頂に達したとは決して言いませんが、不手際は十分感じつつ、ほろ苦い満足感も少々。もう私は、真っ赤の夕日に感銘を与え、夢に向かって走り出すという年齢ではありません。熱き感性をロータリーに注ぐ勇気にかけて点、辛い反省と自戒にいます。あーっ。遥かなるロータリーの道。有難うございました。